2021 年 10 月
東京大学大学院工学系研究科

令和 4(2022)年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項
【出願日程Ｂ】における変更点について

・出願日程Ｂを実施する専攻は以下の通り。

専　攻　名	募集人員
機　械　工　学	若干名
精　密　工　学	
電　気　系　工　学	
応　用　化　学	
先 端 学 際 工 学	
（追加）原　子　力　国　際	

・試験実施方法、選抜方法、及び試験科目については、志望専攻の「専攻入試案内」及び専攻 Web サイトにより確認すること。

令和4(2022)年度東京大学大学院
工学系研究科博士後期課程学生募集要項

・新型コロナウイルス感染症等の影響により、試験をオンライン実施に変更する場合があります。本募集要項の内容を変更する場合は、本研究科 Web サイトで公表しますので、随時確認してください。
(http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_guideline.html)
・「６．専攻別試験科目及び募集人員」の【出願日程Ｂ】の欄に募集人員の記載が無い専攻についても、【出願日程Ｂ】（冬入試）での募集を実施する場合があります。実施の有無については、１０月１日頃に上記 Web サイトで告知します。
・外国籍の志願者の在留資格申請は、入学許可通知後でなければ手続きが始められません。手続きには通常１ヶ月以上かかります。在留資格を新規に申請する場合、入学許可通知後に申請手続きが開始となり、入学日に間に合いません。新たに在留資格申請が必要な外国籍の志願者については「４月入学」の選択を検討してください。

教育研究上の目的

本研究科は、豊かな教養に裏付けられた、科学技術に対する体系的な知識と工学的な思考方法を身につけ、工学とその活用に係わる研究、開発、計画、設計、生産、経営、政策提案などを、責任を持って担うことのできる人材を育成し、未踏分野の開拓や新たな技術革新に繋がる研究へと果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

求める学生像

１）本研究科の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
２）多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人
３）健全な倫理観と責任感を備え、強い意欲を持って学ぼうとする人

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、その教育研究上の目的に沿って、人材を育成します。博士課程は、研究や国際的な活動を通して、専攻する分野における世界トップレベルの高度な専門性や幅広い知識を身につけ、工学的・論理的な高度な思考力・創造性を磨き、課題設定能力・問題解決能力を有する人物となることを要求しています。さらに、国際的なリーダーシップを発揮することができ、研究成果の国際的な発信能力、国際的なコミュニケーション能力を有し、高い倫理観・責任感を有することを要求しています。

入学者選抜においては以下の点が問われます。
・志望分野において高度な専門性を身につけ、工学的な深い思考力を有していること。
・問題を発見して、それを創造的に解決・展開する資質を有していること。
・国際的なコミュニケーション能力を有しており、それによる研究成果の発信ができること。

１．出願資格

(１)日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和4(2022)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者(注1)(注5)

（２）大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者(注5)

（３）外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者(注2)(注5)

（４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者(注5)

（５）国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者(注5)

（６）外国の学校、上記（４）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の２に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び令和4(2022)年3月31日までに合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注3)(注5)

（７）日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和4(2022)年3月31日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注1)(注2)(注3)(注5)

（８）個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、令和4(2022)年3月31日において24歳に達しているもの(注4)(注5)

(注１)　上記(1)、(7)の「日本の大学」とは、学校教育法第 83 条の定める日本国内の大学を示す。

(注２)　上記(3)、(7)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注３)　上記(6)又は(7)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、事前に出願資格及び提出書類等を確認の上、下記期日までに工学系研究科学務課大学院チーム(12.問合せ・連絡先 参照)に提出すること。

出願日程Ａ：令和 3(2021)年 5 月 28 日(金)

出願日程Ｂ：令和 3(2021)年 10 月 29 日(金)

(注４)　①上記(8)に該当する者とは、上記(1)から(7)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者を示す。

②上記(8)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、事前に出願資格及び提出書類等を確認の上、下記期日までに工学系研究科学務課大学院チーム(12.問合せ・連絡先 参照)に提出すること。

出願日程Ａ：令和 3(2021)年 5 月 28 日(金)

出願日程Ｂ：令和 3(2021)年 10 月 29 日(金)

③入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

(注５)　令和3(2021)年10月1日付け入学希望者の場合、上記(1)から(8)における「令和4(2022)年3月31日」については、「令和3(2021)年9月30日」に読み替えるものとする。

２．社会人受入れ

（１）各専攻において、社会人を受け入れる。

（２）教育・研究機関、会社等に正規職員として在職している者が、入学後もその身分を有したまま、在学することができる。

（３）選抜に当たっては、修士の学位論文又はこれに代わる研究業績等を勘案する。

３．出願方法

受付期間は、下記（３）のとおり出願日程Ａ及び出願日程Ｂの２通りに区分する。
ただし、専攻によっては出願日程Ｂを実施しない場合があるので、事前に志望専攻の専攻事務室へ確認すること。なお、それぞれの受付期間に両方出願することは妨げないが、令和3(2021)年10月入学を希望するものは、出願日程Ａによる。

（１）入学願書等は事前に入学願書作成入力フォームにて作成すること。
(http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_guideline.html)

（２）出願は、「提出書類等」の電子データをオンライン上の指定の場所にアップロードするとともに、「提出書類等」を一括して指定の封筒に入れ、書留速達郵便で郵送すること。詳細は、本研究科 Web サイトで確認すること。
(http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_guideline.html)

（３）受付期間

※出願には、電子データのアップロードと、郵送による書類提出の両方が必要となる。

出願日程Ａ：
アップロード期間　令和 3(2021)年 7 月 1 日(木)から 7 日(水) 午後３時（日本時間）
郵送期限　7 月 7 日(水)までの消印があり、かつ 7 月 13 日(火)までに到着したものまで有効

出願日程Ｂ：
アップロード期間　令和 3(2021)年 11 月 25 日(木)から 12 月 1 日(水) 午後３時（日本時間）
郵送期限　12 月 1 日(水)までの消印があり、かつ 12 月 6 日(月)までに到着したものまで有効

＊ただし、「提出書類等」のうち「その他」については、提出の期間や方法が異なる場合があるため、志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。

（４）郵送先（出願日程Ａ及び出願日程Ｂ）〒113-8656　東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム

４．試験期日及び場所

（１）出願日程Ａ

出願日程Ａの第1次試験は、令和3(2021)年8月28日(土)から9月5日(日)の9日間に行う。
時間割及び試験場については、志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。
一般教育科目の筆記試験は、原則として、試験会場（東京大学本郷キャンパス）で実施する。

海外在住者等で試験会場での受験が不可能な者や、本人に基礎疾患があり、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い者には、オンラインでの受験を許可する場合がある。オンラインでの受験を希望する者は、別紙「一般教育科目　オンライン試験申請書」を提出すること。オンラインでの受験が許可された者は、試験会場での受験に変更することはできない。オンラインでの受験の可否及び試験に関する詳細は、受験票送付時に通知する。オンラインでの受験が許可された者は、8月29日（日）午後に実施する模擬試験に必ず参加すること。参加しない者は受験資格を失う場合がある。なお、オンライン筆記試験では、公平性確保及び不正防止の観点から、受験者の録画・録音を行う。

また、第2次試験は、令和4(2022)年1月下旬から2月中旬に行う。試験期日、時間割及び試験場については、令和4(2022)年1月上旬頃までに対象者に通知する。

ただし、次のいずれかに該当する者に対する第2次試験は、令和3(2021)年8月28日(土)から9月5日(日)の9日間に行う。

①修士の学位又は専門職学位を出願時に既に取得済み又は令和3(2021)年9月30日までに取得する見込みの者(注)

②令和3(2021)年10月入学希望者

注）上記①に該当する者でも、受験者によっては、第2次試験を1月下旬から2月中旬に行う場合があるので、志望専攻の「専攻入試案内」又は受験票交付時の通知（予定）を確認すること。

(２)出願日程Ｂ

出願日程Ｂの第1次試験及び第2次試験は、令和4(2022)年1月下旬から2月中旬に行う。各専攻の試験期日等は、令和3(2021)年12月の受験票交付時（予定）に通知する。

５．選抜方法

(１)入学者の選抜は、第１次試験及び第２次試験による。

(２)第１次試験における選抜は、筆記試験、口述試験及び提出書類による。

(３)専攻によっては、第１次試験における選抜において提出書類による書類選考を行い、書類選考の合格者のみを対象として筆記試験、口述試験等を行う場合がある。なお、書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。詳細は志望専攻の「専攻入試案内」等により確認すること。

(４)第２次試験においては、修士の学位論文又はこれに代わるものについての試験を行う。上記の第２次試験は、第１次試験の合格者のみについて行う。

(５)筆記試験、口述試験、提出書類及び修士の学位論文等を総合的に判定し、選抜する。

６．専攻別試験科目及び募集人員（出願日程Ａ）

出願日程Ｂの試験科目については、志望専攻の「専攻入試案内」等を参照すること。

専攻名	筆記試験科目		外国語（英語）		募集人員 出願 日程Ａ	募集人員 出願 日程Ｂ
	一般学術	専門学術				
社会基盤学	なし	※4 社会基盤学	※2	※6 TOEFL, IELTS, TOEIC L&R いずれかのｽｺｱの提出	24 名	－
建築学	なし	※4 建築関係科目	※2	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	16 名	－
都市工学	なし	※4 都市工学関係科目	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	11 名	－
機械工学	なし	※4 ア）※2 数学及び力学 イ）各自の専門分野に関連する学術	※2	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	25 名	若干名
精密工学	なし	※4 精密工学	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	12 名	若干名
システム創成学	なし	※4 システム創成学関連科目	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	19 名	－
航空宇宙工学	※2※5 ※8 数学	※4 航空宇宙工学	※2	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	18 名	－
電気系工学	なし	※4 電気電子工学・情報工学	※2 ※4	※6 TOEFLｽｺｱの提出	32 名	若干名
物理工学	なし	※4 物理学	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	19 名	－
マテリアル工学	なし	※1、※4 マテリアル工学基礎	※2	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	20 名	－
応用化学	なし	※4 専門学術に関する試験	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	13 名	若干名
化学システム工学	なし	※4 ア）※3 化学システム工学に関連する基礎科目についての試験 イ）各自の専門分野に関する学術試験	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	13 名	－

化学生命工学	なし	※4 各自の専門分野に関する学術試験	※3	※4 専攻独自の英語試験を課し、TOEFLは使わない	13名	―
先端学際工学	なし	なし	※3	※6,※7 一般ｺｰｽ： TOEFL ｽｺｱの提出 先端科学技術ｲﾉﾍﾞｰﾀｺｰｽ： TOEIC L&R ｽｺｱの提出	46名	若干名
原子力国際	なし	※4 専門学術に関する試験	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	11名	―
ﾊﾞｲｵｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	※3、※9 数学 物理学 化学	なし	※3	※6 TOEFL または IELTS Academic のｽｺｱの提出・上記のうち TOEFL を推奨する	12名	―
技術経営戦略学	なし	※1、※4 技術経営戦略学に関する学術	※3	※6 TOEFL ｽｺｱの提出	8名	―

計 312 名

※1 当該専攻修士課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略する。

※2 本研究科修士課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略する。

※3 本学大学院修士課程又は専門職学位課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略する。

※4 この試験科目及び口述試験の詳細は、志望専攻の「専攻入試案内」で確認すること。

※5 この試験科目の出題分野については、別紙「一般教育科目の出題分野」を参照すること。

※6 今年度は、大学院入学試験場で TOEFL ITP は実施しない。TOEFL スコアの提出に関する詳細は、別紙「令和4(2022)年度東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語(英語)試験に関するお知らせ」(TOEFL スコア提出) 、及び「専攻入試案内」を参照すること。TOEFL 以外のスコアの提出に関する詳細は、「専攻入試案内」を参照すること。

※7 TOEIC Listening & Reading 公開テスト公式スコアの提出に関する詳細は、「専攻入試案内」を参照すること。

※8 オンライン実施となった場合には専攻独自の出題とする場合がある。

※9 数学、物理学、化学に生命科学を加えた４科目から出願時に受験する２科目を選択する。詳細については、「専攻入試案内」を参照すること。

７．提出書類等

出願日程Ａ及び出願日程Ｂ共通

書　類　等	提　出　者	摘　　要
＊入学願書	全員	必要事項を正確に入力すること。 入試に関する連絡はメールで行うので、必ず連絡のとれるメールアドレスを記載すること。 入学願書作成入力フォームの指示に従い、顔写真データ(上半身脱帽、正面向き、出願前3ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの)をアップロードすること。顔写真データの形式は、特に問わない。 なお、顔写真データは、試験実施の際の本人確認に使用する他、学生証作成の際にも使用する。
＊あて名ラベル		出願書類送付用のあて名ラベルを出力し、所定の封筒に貼付すること。
出願書類 送付用封筒		A4サイズが入る大きさ（おおよそ縦332mm×横240mm）とし、封筒の表に入学願書作成入力フォームから出力したあて名ラベルを貼付し、必要な書類を入れた後、書留速達扱いとして郵便局窓口で差し出すこと。
検定料	全員 ［本学において令和4(2022)年3月に(10月入学希望者については令和3(2021)年9月に)修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者及び日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く］	30,000円 銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行又はクレジットカードでの払込に限る。いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。 銀行振込の場合、入学願書作成入力フォームから出力した検定料振込依頼書を用いて、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）から振り込むこと（ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと）。振込方法等の詳細は、入学願書作成入力フォームから出力した検定料振込依頼書及び注意書を参照すること。 また、コンビニエンスストア、ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行、中国決済又はクレジットカードでの払込の場合の手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院工学系研究科検定料払込方法」を参照すること。
出身大学院の 修了証明書	既修了者(出願時に既に修士の学位を取得している者) ［本研究科修士課程又は専門職学位課程修了者を除く。］	1)成績証明書に、修了年月日が記載されている場合は不要。 2)出身大学院が発行したもの（公印入り）で、学位が明記されていること。 3)出願資格(２)の者は、大学改革支援･学位授与機構が作成した学位授与証明書を提出すること。 4)コピー、電子版のプリントアウト不可。

出身大学及び出身大学院の成績証明書	全員 ［本研究科修了(見込)者を除く。］	1) 出身大学及び出身大学院が発行したもの（公印入り）で、学部(教養課程を含む)及び修士課程(博士前期課程)又は専門職学位課程の成績を証明するもの。 2)大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。 3)コピー、電子版のプリントアウト不可。
研究計画書	官公庁在職者で、在職のまま在学を希望する者	A4サイズ任意用紙4枚程度にまとめたもの。
その他	該当者	専攻によっては、上記以外の書類を提出させることがある。志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。

(注１)日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書、文書、資料等には、すべて日本語訳又は英語訳を添付すること。

(注２)＊印は、入学願書作成入力フォームに必要事項を入力の上、出力するものである。

８．合格者の発表及び入学手続

(１)出願日程Ａ

①出願日程Ａの合格者及び第1次試験合格者は、令和3(2021)年9月14日(火)午後4時、本研究科Webサイトに掲載する。（http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html）

また、出願日程Ａにおける第2次試験対象者の合格者は、令和4(2022)年2月10日(木)午後4時、本研究科Webサイト（上記参照）に掲載する。

②出願日程Ａの入学許可は、以下の予定で本人あてに通知する。

・令和3(2021)年10月入学許可者

日本国籍の者：令和3(2021)年9月中に通知する。

日本国籍以外の者：「東京大学安全保障輸出管理」の審査完了後に通知する。

・令和4(2022)年4月入学許可者

日本国籍の者：令和4(2022)年2月に通知する。ただし、令和3(2021)年9月発表の合格者については、令和3(2021)年11月に通知する。

日本国籍以外の者：「東京大学安全保障輸出管理」の審査完了後に通知する。

(２)出願日程Ｂ

①出願日程Ｂの合格者は、令和4(2022)年2月10日(木)午後4時、本研究科Webサイトに掲載する。（http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html）

②出願日程Ｂの入学許可は、以下の予定で本人あてに通知する。

・令和4(2022)年4月入学許可者

日本国籍の者：令和4(2022)年2月中に通知する。

日本国籍以外の者：「東京大学安全保障輸出管理」の審査完了後に通知する。

(３)令和4(2022)年4月入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する指示に従い、令和4(2022)年3月4日(金)（予定)までに必要な入学手続を行うこと。また、令和3(2021)年10月入学許可の通知を受けた者は、同様に、令和3(2021)年9月24日(金)(予定)までに必要な入学手続を行うこと。期日までに入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(４)電話、ＦＡＸ、メール等による合否についての照会には、一切応じない。

(５)入学時に必要な経費(令和4(2022)年度予定額)

（日本政府（文部科学省）奨学金留学生に対しては入学料、授業料を徴収しない。また、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程の修了見込み者に対しては入学料を徴収しない。）

① 入学料　　282,000円（予定額）

② 授業料　前期分　260,400円（年額520,800円）（予定額）

注）上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

９．注意事項

（１）本研究科の同一日程（出願日程Ａ又は出願日程Ｂ）の入学試験においては、同時に２つ以上の専攻に出願することはできない。

なお、本研究科の出願日程Ａの第１次試験に既に合格している者は、合格を辞退することなく、出願日程Ｂに出願することはできない。

また、他大学及び本学他研究科（教育部を含む）と重複して入学することはできない。

（２）提出期日までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、また、書類の返却はしない。

（３）受験票は、おおよそ次の日程でオンラインで交付する。

・出願日程Ａの受験票：８月上旬までにオンラインで交付する。

・出願日程Ｂの受験票：１月上旬までにオンラインで交付する。

詳細は上記の時期に、研究科 Web サイトへ掲載するとともにメールで通知する。

（http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_guideline.html）

（４）社会人で在職の身分のままで入学を希望する者は、入学手続きの際に、「在職のまま大学院に入学することに支障はない」旨の勤務先の承諾書（様式任意。証明者は上長であれば役職は問わない。）を提出すること。

（５）本研究科では、令和4(2022)年4月入学のほかに専攻によっては、令和3(2021)年10月入学を認めることがある。詳細は志望専攻の「専攻入試案内」で確認すること。

（６）障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は、出願前に工学系研究科学務課大学院チーム（12.問合せ・連絡先 参照）及び志望専攻の専攻事務室に申し出ること。

（７）外国人は、入学手続時までに、「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。

（８）事情によっては、出願手続、試験の方法、試験期日等について変更することもある。

（９）納入された検定料は、どのような事情があっても、払い戻しはしない。

(10)入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。

(11)出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

(12)入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

(13) 災害等により不測の事態が発生した場合、入試に関する情報提供は本研究科 Webサイト等で行うので注意すること。

10. オンライン試験となった場合の一般教育科目の環境整備（参考）

現時点で試験は対面で行う予定であるが、状況によってはオンラインで実施する場合もあり得る。その場合は別途ホームページなどで通知をするが、オンライン試験では、試験に先立ち、予め以下のものを受験者自身で準備、確保しておく必要がある。

・明るい静かな個室（静寂が担保できる個室環境）
・動画を使ったオンライン試験が可能な光回線などのネットワーク環境
・カメラ・マイク付きパソコン
・カメラ付きスマートフォン（4G又は5G）

オンライン試験にあたり、事前に試験環境をチェックする機会を設けます。その際に不具合があった場合は、個別に対応します。

11. 不正行為に対する対応

出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が出てきた場合は、合格後、及び入学後においても遡って合格、及び入学を取り消すことがある。

12. 問合せ・連絡先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム
Ｅメール daigakuin.t@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
電話　03(5841)6038、7747（平日 9:00～17:00※土日祝日を除く）

令和 3(2021)年 5 月

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室Webサイトを参照してください。
https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html

令和４(2022)年度東京大学大学院工学系研究科
大学院入学試験外国語(英語)試験について(TOEFL スコア提出)
(修士課程・博士課程【出願日程 B】)

◆受験日(Test Date)が 2020 年 2 月以降のスコアを有効とします。
◆TOEFL iBT/ TOEFL iBT Home Edition の受験申込期限：出願時まで
◆TOEFL iBT/ TOEFL iBT Home Edition の受験期限、スコアレポートの提出期限は、専攻によって異なります。別添資料を参照してください。

〔TOEFL スコアの提出方法〕

・TOEFL iBT(会場受験)※1 又は TOEFL iBT Home Edition(自宅受験)※2 の公式スコアが有効です。

※１ TOEFL iBT の受験申し込み方法は、ETS の Web サイトで各自確認してください。
(参考 URL : https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/index.html)

※２ TOEFL iBT Home Editionの使用機器・受験環境・受験申し込み方法は、ETSのWebサイトで各自確認してください。(参考URL: https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/at-home/index.html)

・TOEFL iBT（又は TOEFL iBT Home Edition）の受験を申し込む際に、以下の送付先へ公式スコアレポートの送付を請求してください。既に受験済みのスコアを提出する場合も、以下の送付先へ公式スコアレポートを送付するよう ETS へ依頼してください。
(参考 URL: https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/scores.html)

TOEFL 公式スコア送付先　　・このコード以外で送付されたものは確認することができません。
DI(Designated Institution)コード："8596"（University of TokyoEngineering）
Department コード："99"(Any Department Not Listed)

・送付手続きが完了していないと、本研究科ではスコアを確認することができません。送付手続きが正しく完了し、試験自体にも問題がなかった場合は、受験後約 2 週間程度で当研究科でオンライン上のスコアデータを確認することができます。オンライン上でスコアデータが確認できた時点でスコアが提出されたものとするため、スコアレポートが提出期限内に郵送で届いていなくても問題ありません。

〔注意事項〕

・大学院入学試験の出願期限までに TOEFL 受験を申し込み、「入学願書作成入力フォーム」に提出予定のスコアレポートの Appointment Number を入力してください。既に受験済みのスコアを提出する場合も、提出予定のスコアレポートの Appointment Number を入力してください。複数のスコアを送付した場合、願書に入力した Appointment Number のスコアのみ有効となります。
・受験者控（Test Taker Score Report）の提出は不要です。
・提出する TOEFL スコアの出願後の変更は原則認めません。
・機械トラブル等の主催者側の理由により、再試験になったり、スコアの開示が遅れるケースがありますので、十分な日程の余裕を持って受験をしてください。
・ETS の Web サイトの情報を確認し、期限までに到着するよう十分な日程の余裕を持ってスコアを送付してください。
・本研究科では、原則 Test Date Scores を採用します。ただし、専攻によって My Best Scores を活用する場合は、各専攻の入試案内に記載しますので参照ください。
・TOEFL ITP Plus for China のスコア提出も認めます。TOEFL ITP Plus for China のスコアを提出する場合は、ご自身の Vericant アカウントに通知されるスコアのコピーを大学院入学試験の出願書類とともに提出してください。また、Vericant 社の学生ポータルサイトにある”Send to Schools"のページから、本研究科(The University of Tokyo(Engineering))をデータ受取人に指定してください。

2021 年 10 月
東京大学大学院工学系研究科

【別添資料】

2021年10月

令和4(2022)年度東京大学大学院工学系研究科
修士課程・博士後期課程入試（令和3(2021)年度・冬実施）

TOEFL iBT/TOEFL iBT Home Editionの受験期限・スコアレポート提出期限（※）について

（※）スコアレポート提出期限とは：スコアの送付手続きが正しく完了し、試験自体にも問題がなかった場合は、受験後約2週間程度で当研究科でオンライン上のスコアデータを確認することができます。オンライン上でスコアデータが確認できた時点でスコアが提出されたものとするため、スコアレポートが提出期限内に郵送で届いていなくても問題ありません。

・機械トラブル等の主催者側の理由により、再試験になったり、スコアの開示が遅れるケースがありますので、十分な日程の余裕を持って受験をしてください。
・ETSのWebサイトの情報を確認し、期限までに到着するよう十分な日程の余裕を持ってスコアを送付してください。

TOEFL 受験申込締切: 出願時まで

専攻	TOEFL受験期限	スコアレポート提出期限	備考
機械工学専攻	受験期限は定めない	2022年1月6日（木）	
精密工学専攻	受験期限は定めない	2022年1月31日（月）	
電気系工学専攻	2021年12月19日（日）	2022年1月24日（月）	
応用化学専攻	受験期限は定めない	2022年1月17日（月）	
先端学際工学専攻	受験期限は定めない	2021年12月28日（火）	TOEICのスコア提出期限も同日とする。
原子力国際専攻	受験期限は定めない	2022年1月7日（金）	